

2017
8月

ありがとうファンド 月次運用レポート

第156号②【基準日 2017年7月31日】



基準価額の推移



ファンドの情報

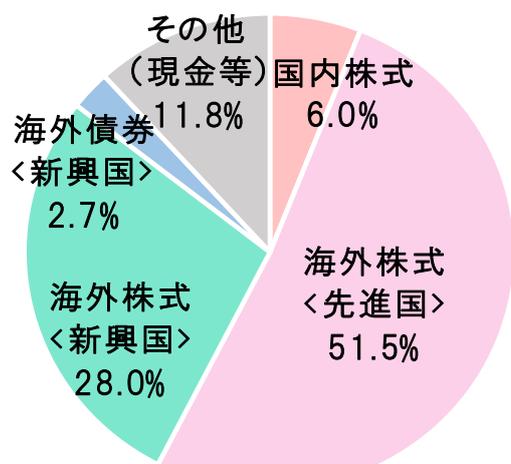
基準価額	17,838円
純資産総額	123億52百万円
口座数	4,717
積立割合	55.8%

ファンドの騰落率

ファンド/参考指数	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	設定来	年率複利	標準偏差
ありがとうファンド	+0.8%	+5.4%	+10.2%	+18.7%	+29.0%	+124.1%	+78.4%	4.58%	17.6
TOPIX配当込み	+0.4%	+5.9%	+7.6%	+25.1%	+33.5%	+143.8%	+80.7%	4.69%	22.4
MSCI ACWI (世界、円)	+1.1%	+4.8%	+9.8%	+26.9%	+30.9%	+143.3%	+168.4%	7.94%	22.1
MSCI KOKUSAI (日本除先進国、円)	+0.8%	+4.1%	+9.2%	+26.1%	+32.8%	+153.7%	+178.4%	8.25%	23.3
MSCI EM (新興国株、円)	+4.3%	+9.4%	+17.0%	+35.1%	+16.6%	+81.7%	+245.3%	10.07%	26.0

※「年率複利」は、過去の実績値であって将来の成績を保証するものではなく、またお客様ごとの購入時期によって運用結果は異なります。「年率複利」と「標準偏差」については、ありがとうファンド設定来(2004年9月1日)からのデータを基に、弊社にて計算しております。参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

資産配分(6月末時点)



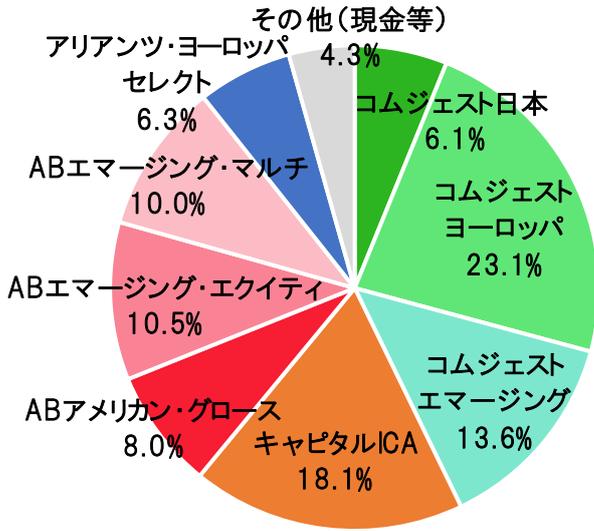
地域・資産	組入比率	基準値	基準比
国内株式	6.0%	6%	+0.0%
海外株式<先進国>	51.5%	58%	-6.5%
海外株式等<新興国>	30.7%	33%	-2.3%
その他(現金等)	11.8%	3%	+8.8%



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

🌸 ポートフォリオ(7月末時点)



🌸 アクティブシェア(6月末時点)

ファンド名 (略称)	アクティブシェア※	参考指数
コムジエスト日本株式	88%	TOPIX
コムジエストヨーロッパ	88%	MSCIヨーロッパ
コムジエストエマーシング	91%	MSCIエマーシングマーケット
キャピタルICA	開示なし	開示なし
ABアメリカン・グロース	65%	ラッセル1000グロース
ABエマーシング・エクイティ	75%	MSCIエマーシングマーケット
ABエマーシング・マルチ	株式71% 債券27%(注1)	なし
アリアンツ・ヨーロッパセレクト	68%	S&Pヨーロッパ・ラージキャップ・グロース

※アクティブシェアとは、各ファンドのベンチマークもしくは参考指数に対して異なる割合を表しています。上記のアクティブシェアは各ファンドの運用会社の開示を基に掲載しています。

注1：ABエマーシング・マルチファンドについては、株式と債券複合の運用で参考指数がないため、参考までに各資産の組入比率を開示しています。

🌸 直近のマーケット動向、ありがとうファンドについて



7月のマーケットはどうでしたか？

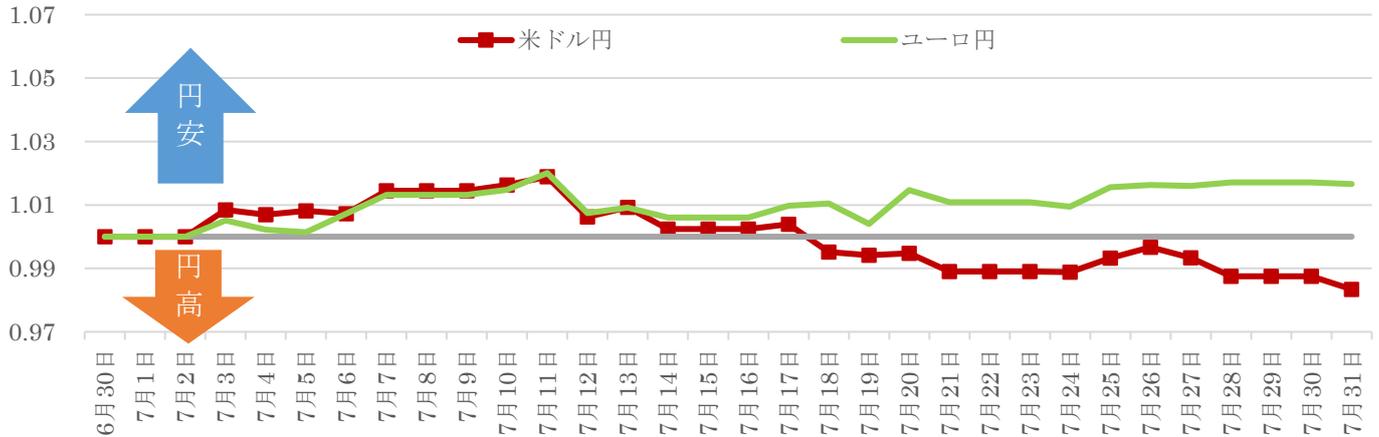


7月のマーケットの動きですが、中国などのエマーシング株式市場が世界株式市場を牽引する相場でした。序盤は大きな動きはありませんでしたが、中盤 FRB(米連邦準備制度理事会)のイエレン議長はFRBの保有資産縮小を年内の早い時期に開始する意向を示したうえで、追加利上げについては物価動向を注視して慎重に判断する姿勢を見せたことから、追加利上げが12月以降になるとの見方が強くなり、主に海外株式市場が上昇しました。また、中国の4-6月実質GDP成長率が発表され、国内消費と輸出の拡大を受けて製造業の設備投資が拡大した結果前年同期比6.9%と政府目標(6.5%前後)を大きく上回ったことなども好感されました。月後半にかけては、ECB(欧州中央銀行)のドラギ総裁が会見で、量的緩和縮小の議論を秋に行うと明言したことなどを受け、「テーパリング(量的緩和の縮小)」が意識され、ユーロがドル相対で高止まりました。欧州株式市場はユーロ高を嫌気して低調に推移しました。

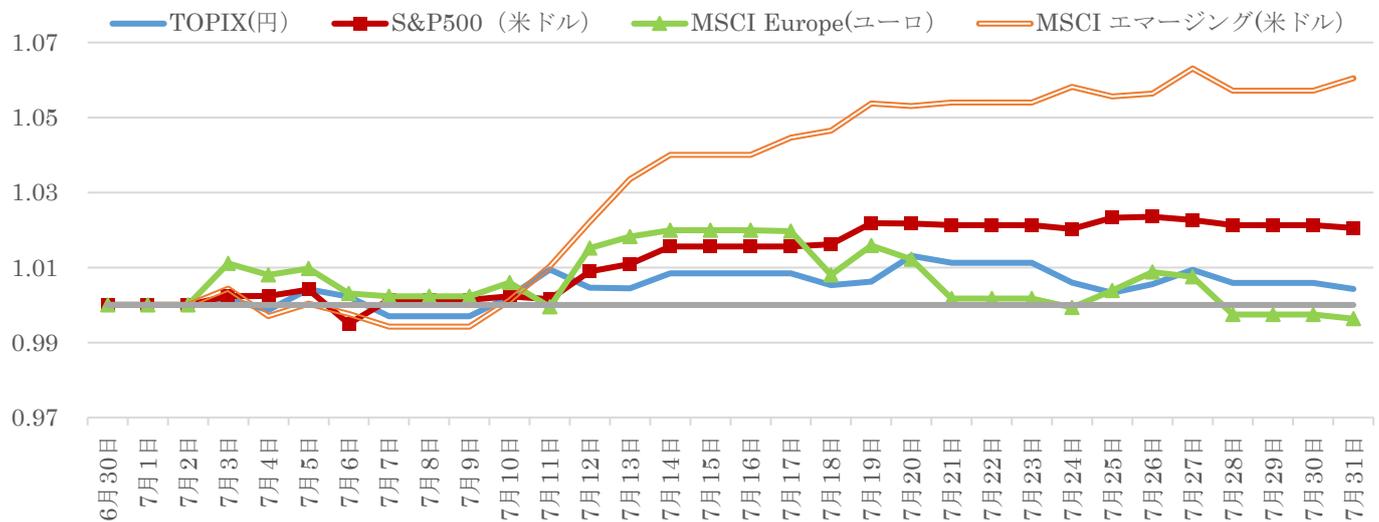
月間の騰落率としては、TOPIX(配当込み)は0.42%の上昇、米国S&P500(配当込み)はドルベースで2.06%の上昇、欧州MSCIヨーロッパ(配当込み)はユーロベースで0.37%の下落、新興国MSCIエマーシング(配当込み)はドルベースで6.04%の上昇となりました。

為替相場は月末時点で、米ドル/円が110円台前半と前月末比で円高にふれました。一方ユーロ/円は130円台前半となり、前月末比で円安にふれました。

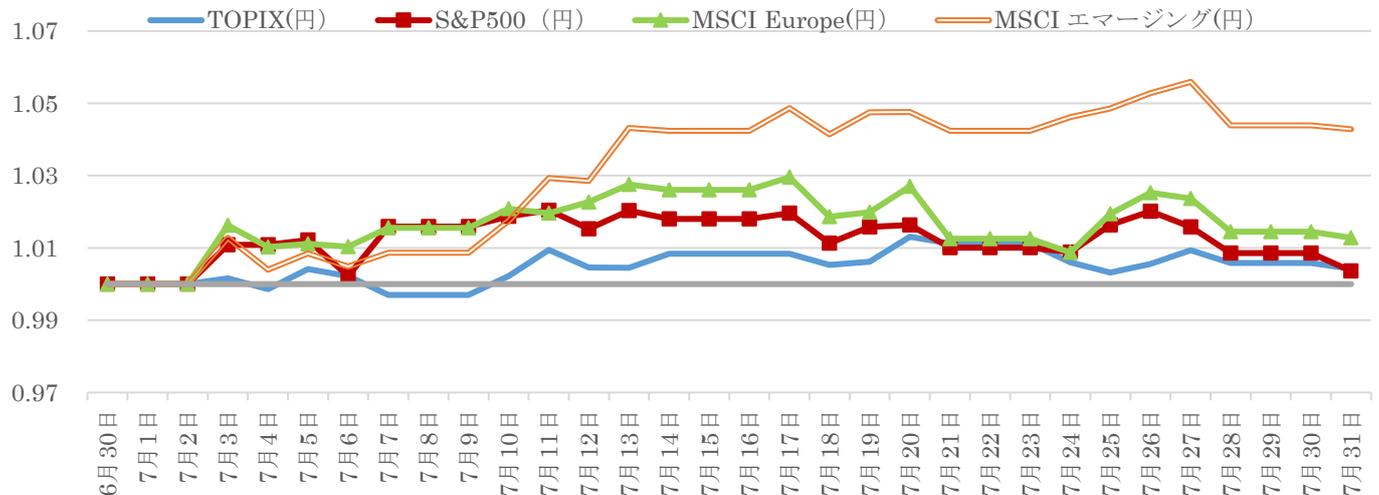
【米ドル円、ユーロ円推移】2017年6月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、現地通貨ベース)】2017年6月30日を1として指数化



【主要株式指数推移(配当込、円ベース)】2017年6月30日を1として指数化



※ ファクトセットよりデータを参照し、弊社にて指数化しております。(レポート最終ページに注記があります。)

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

上記現地通貨ベースの指数推移を参照して頂くと、今月の世界株式市場はエマージング株式市場が牽引したことが確認できると思います。



ありがとうファンドの運用はどうでしたか？

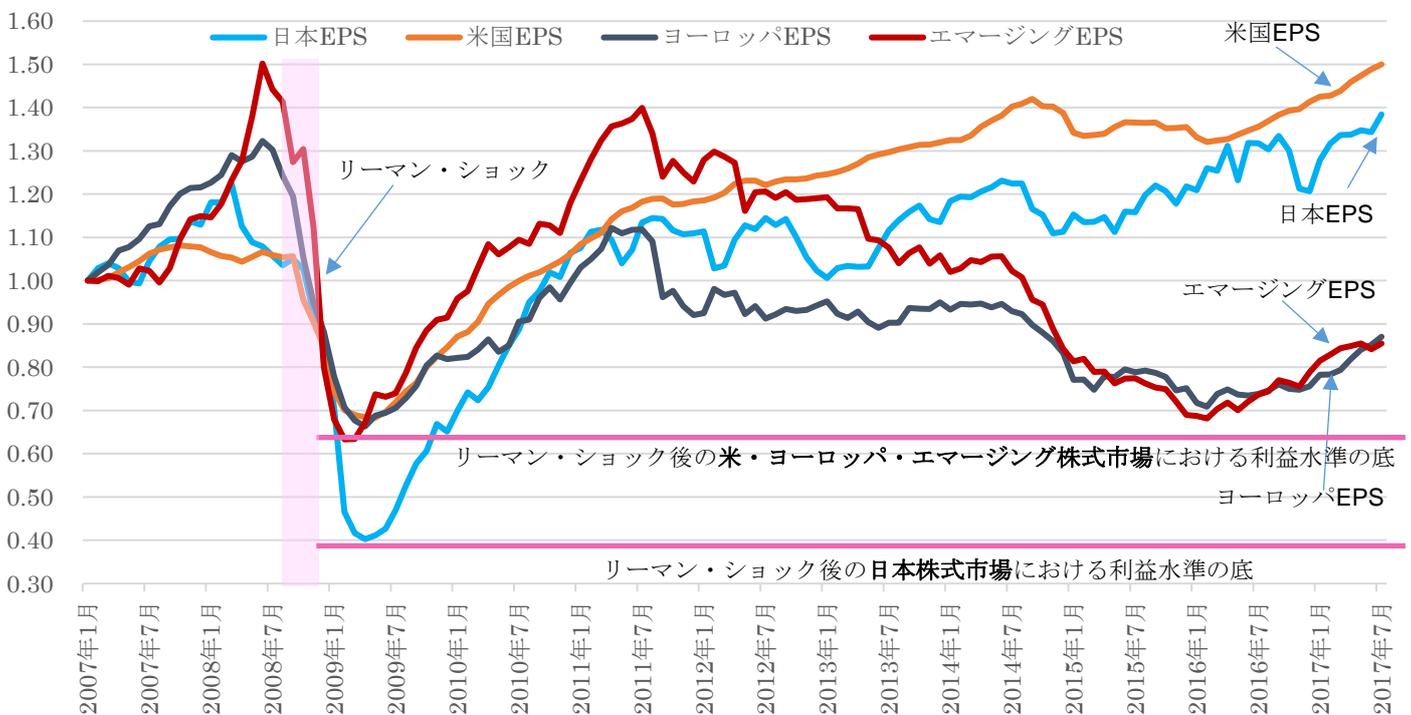
ありがとうファンドの7月間騰落率は0.8%の上昇となりました。主にエマージング株式市場の上昇がありがとうファンドの基準価額上昇に貢献しました。

7月中の売買状況については、国・地域別配分新基準値への変更に向けて、キャピタルICAファンドを一部売却しました。また、コムジェスト・ヨーロッパファンドを一部売却し、アリアンツ・ヨーロッパセレクトファンドを買付け、スイッチングしました。



今後の見通しはどうなりそうでしょうか？

今後の見通しについては、トランプ大統領の動向に一喜一憂するのではなく、あくまでも長期投資の視点からファンダメンタルズの改善に基づいた企業利益の成長に沿った成長銘柄が見直される相場になると考えております。下図では、リーマン・ショック前からの4国・地域のEPS(1株当たり利益)の水準をまとめました。足元5年ほど低迷していたエマージング市場と、ヨーロッパ市場は活気を取り戻しつつあります。



出所：ファクトセットよりありがとう投信計算、EPSは2007年1月末を1として指数化

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。



今後の運用方針はどうなりそうでしょうか？

今後の運用方針についてですが、世界経済はBrexit、トランプ大統領の選出、イタリア国民投票の結果などを見るに、保護主義・ポピュリズムが台頭するなど、大きな変革期にあるように見えます。株式市場という観点から考えると、リーマン・ショック後、各国・地域は金融緩和で各々の経済・株式市場を支えて、各市場同じ方向に動く局面が多く見られましたが、保護主義が色濃くなってきた昨今では、ある意味各市場同士の相関が薄れ、分散効果が見られるようになってきました。このような環境下では、一つの市場だけに投資することは非常にリスクが高いと考えますので、特定の市場に偏ることなく幅広く分散投資することで、長期的に持続性のあるリターンを享受できると考えております。その点、ありがとうファンドでは引き続き国際分散を推し進めることにより、世界経済の変革期に対応していきたいと考えております。

また、投資対象のファンドという観点からは、去年後半から金融関連銘柄といった景気敏感株の株価上昇が目立ちましたが、当ファンドではあくまでも長期投資を前提とし、長期で企業利益成長が見込まれる銘柄を発掘するファンドを厳選して投資を続けていきたいと考えております。投資対象国・地域についても、前ページのEPS推移が示しているように、長く低迷していたエマージング市場、ヨーロッパ市場の企業利益改善にも注目しており、今後長期で伸びしろのある市場と考えております。



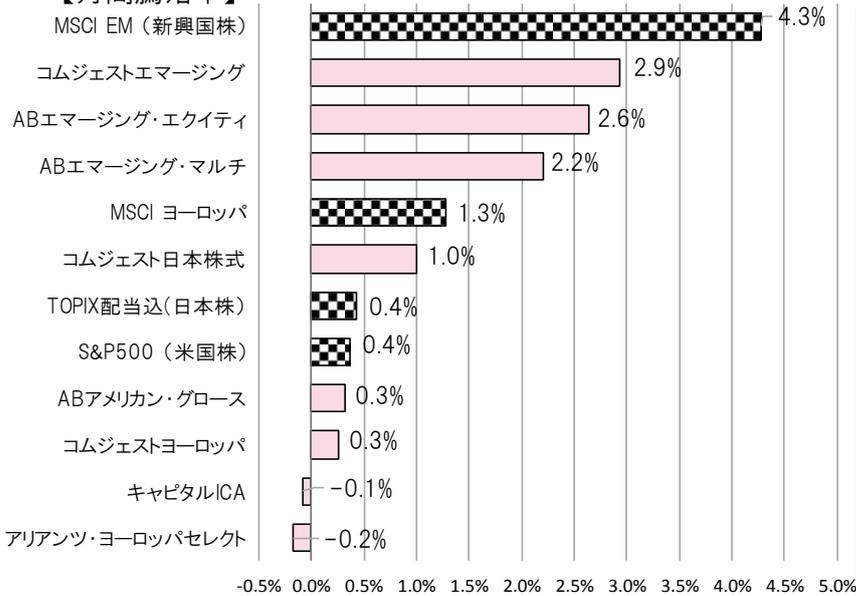


投資先ファンドの状況について教えてください。

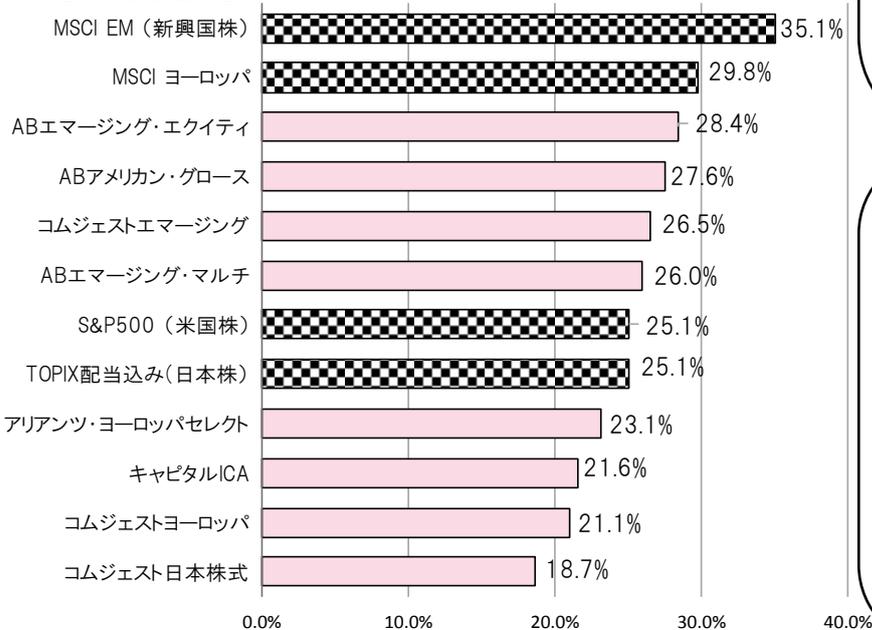


まずは下の投資先ファンドの月間と年間の騰落率(円ベース比較)をご覧ください(2017年7月31日時点)

【月間騰落率】



【年間騰落率】



月間騰落率については、コムジエスト日本株式ファンドが参考指数(円ベース)に対しアウトパフォームしました。組入銘柄の決算内容が好調だったことが堅調なパフォーマンスに寄与しました。特に組入第4位(6月末時点)の高級スキンケア商品に強みを持つ化粧品メーカー、ポーラオルビスでは、年初から販売を開始した「リンクルショット」が供給をはるかに超える需要があったことなどが寄与して、上半期の営業利益は72%増加しました。一方、エマージング市場の3本のファンドについては、指数に対し低調なパフォーマンスの一ヶ月でした。比較的保有割合の多いヘルスケア、生活必需品、電気通信、資本財・サービスといった業種が相対的に軟調であったことなどが影響しました。

年間騰落率については、去年年初に原油安などからの資源銘柄安、またマイナス金利導入後で銀行をはじめとする金融銘柄などの景気敏感銘柄が大きく下げて、一方、昨年後半からのトランプラリーでは、そういった景気敏感株が買い戻された相場になったため、景気敏感株をほとんど保有しない当ファンドの年間騰落率は景気敏感も含む指数に対し低調なパフォーマンスになりました。

※ 上記参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

マーケットが楽観的な時も悲観的な時も、長期投資はじっくりコツコツ続けていくことが大切です！時間を味方につけて、一緒に国際分散投資で資産運用していきましょう！何かご不明な点がございましたら、お気軽に弊社までお問合せください。(ありがとうファンド運用担当者)



🌸 投資先ファンドの運用パフォーマンス

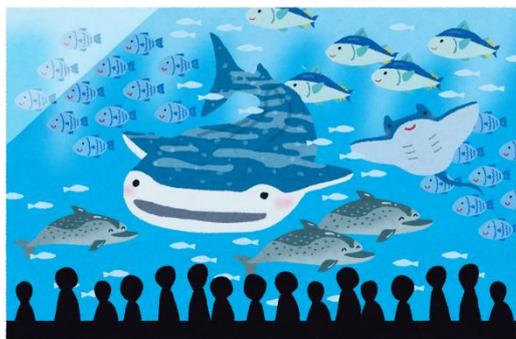
#	投資先ファンド	主要投資地域	組入比率	1ヶ月	3ヶ月	6ヶ月	1年	3年	5年	年率複利(5年)
1	コムジスト日本株式	日本	6.1%	+1.0%	+7.9%	+10.6%	+18.7%			
	TOPIX 配当込み			+0.4%	+5.9%	+7.6%	+25.1%	+33.5%	+143.8%	+19.2%
2	ABアメリカン・グロース	米国	8.0%	+0.3%	+3.4%	+12.2%	+27.6%	+58.5%	+213.2%	+25.2%
3	キャピタルICA	米国	18.1%	▲0.1%	+2.0%	+4.9%	+21.6%			
	S&P500 (米国、円)			+0.4%	+3.2%	+7.5%	+25.1%	+46.4%	+181.9%	+22.6%
4	コムジスト ヨーロッパ	欧州	23.1%	+0.3%	+5.1%	+16.2%	+21.1%	+29.4%	+138.5%	+18.7%
5	アリアンツ・ヨーロッパ セレクト	欧州	6.3%	▲0.2%	+4.6%	+14.9%	+23.1%	+27.0%		
	MSCI EUROPE (ヨーロッパ、円)			+1.3%	+6.1%	+14.8%	+29.8%	+16.2%	+126.1%	+17.4%
6	コムジスト エマージング	エマージング	13.6%	+2.9%	+8.1%	+15.4%	+26.5%	+23.3%	+105.0%	+15.2%
7	ABエマージング ・エクイティ	エマージング	10.5%	+2.6%	+8.0%	+14.6%	+28.4%	+30.2%		
8	ABエマージング ・マルチ	エマージング	10.0%	+2.2%	+6.2%	+12.2%	+26.0%	+26.5%	+83.8%	+12.7%
	MSCI EM (新興国株、円)			+4.3%	+9.4%	+17.0%	+35.1%	+16.6%	+81.7%	+12.5%

注：参考指数(円ベース)の騰落率についてはファクトセットよりデータを参照し、弊社にて計算しております。(レポート最終ページに注記があります。)

積立投資のメリット



- ◆ 取得単価を平準化
- ◆ 時間分散でリスクを低減
- ◆ 長期で投資を継続しやすい



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

各投資先ファンドの組入銘柄 TOP5

◎コムジェスト日本株式ファンド
マザーファンド株式組入上位5銘柄

				7月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ダイフク	日本	資本財・サービス	立体自動倉庫やコンベヤなど、搬送・仕分け・ピッキング・保管に用いられるマテリアルハンドリング(=マテハン)システム・機器のメーカーで、世界でもトップクラスのシェアを持つ。	5.3%	
2 キーエンス	日本	情報技術	FA(ファクトリーオートメーション=工場自動化)用センサーをはじめとする各種センサー、測定器、画像処理機器、制御・計測機器、研究開発用解析機器などの開発、製造、販売を行う。	5.0%	
3 ファナック	日本	資本財・サービス	工作機械などに搭載されるCNC(コンピューター数値制御)装置の世界トップシェアメーカー。	4.1%	
4 ポーラ・オルビスホールディングス	日本	生活必需品	大手化粧品会社グループ。高級スキンケア中心のポーラ、オイルカット(無油分)コンセプトに基づく中価格帯スキンケア中心のオルビスを主軸に、複数ブランドを展開する。	3.6%	
5 ファーストリテイリング	日本	一般消費財・サービス	カジュアル衣料専門店「ユニクロ」をグローバルに展開する。近年はアジアなど海外での店舗数拡大を加速	3.4%	

◎ニッポンコムジェスト・ヨーロッパ・ファンドSA
マザーファンド株式組入上位5銘柄

				7月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 INDITEX	スペイン	一般消費財・サービス	日本ではZARAで有名、世界のファッション・アパレルのリテイリングカンパニーの一つ	7.0%	
2 AMADEUS IT GROUP SA	スペイン	情報技術	旅行予約管理からチェックインなどのプロセス管理まで旅行業に特化したトラベルテクノロジー企業	6.2%	
3 ESSLOR INTERNATIONAL	フランス	ヘルスケア	光学製品メーカー、世界56か国に展開、遠近両用レンズのVariluxで有名	5.1%	
4 COLOPLAST-B	デンマーク	ヘルスケア	1957年にデンマークで誕生したグローバルヘルスケア企業、ストーマケア製品に強み	4.7%	
5 WIRECARD AG	ドイツ	情報技術	インターネットの支払・処理サービスを提供。オンライン支払、電子送金サービス、不正防止、ビジネスソリューションのソフトウェアとシステムを手掛ける。	4.5%	

◎ニッポンコムジェスト・エマージングマーケット・ファンドSA
マザーファンド株式組入上位5銘柄

				7月31日時点	
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 TAIWAN SEMI CONDUCTOR-SP ADR	台湾	情報技術	世界最大の半導体専業ICファブリーメーカー	4.8%	
2 NETEASE INC ADR	中国	情報技術	オンラインゲームやインターネットサービスを手掛ける。オンラインゲーム事業、広告サービス事業、電子メール・無線付加価値サービス・その他事業の3事業を展開。	4.3%	
3 CHINA LIFE INSURANCE CO-H	中国	金融	中国北京に本社を置く生命保険会社、中国各地に代理店網を形成	4.3%	
4 POWER GRID CORP OF INDIA LTD	インド	公益事業	インド内での送電事業、電気通信事業、送電通信コンサルティング事業を主とする企業	4.0%	
5 SAMSUNG LIFE INSURANCE CO	大韓民国	金融	韓国の最大手生命保険会社。	3.6%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

◎キャピタル・グループ・インベストメント・カンパニー・オブ・アメリカ(ICA)

株式組入上位5銘柄					6月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 AbbVie	アメリカ	ヘルスケア	研究・開発に重点的に取り組むバイオ医薬品会社。幅広い独自医薬品の発見、開発、製造、販売を行う。	4.9%	
2 PHILIP MORRIS INTERNATIONAL INC	アメリカ	生活必需品	世界180カ国以上でマール・ポロなどの製品を販売する最大のたばこメーカー	2.6%	
3 VERIZON COMMUNICATIONS	アメリカ	電気通信サービス	世界最大級の電気通信事業者、150カ国以上に展開、NYダウ30採用銘柄	2.6%	
4 AMGEN	アメリカ	ヘルスケア	DNA組換えや分子生物学的技術を軸とした世界的バイオ医薬品メーカー	2.4%	
5 Amazon	アメリカ	一般消費財	オンラインの小売事業者。オンライン広告や提携クレジットカード契約など、他のマーケティングや販売促進サービスも提供する。	2.3%	

◎アライアンス・バーンスタイン・アメリカン・グロース・ポートフォリオ クラス受益証券

組入上位5銘柄					6月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 ALPHABET, INC.	アメリカ	テクノロジー	グーグルの新たな持株会社として、2015年10月2日に設立された。新運営体制におけるグーグルのメイン事業(グーグル事業)には、検索、広告、地図、アプリ、YouTube、Android(アンドロイド)および関連技術インフラが含まれる。	8.2%	
2 FACEBOOK, INC. Class A	アメリカ	テクノロジー	SNS(ソーシャル・ネットワーク・サービス=交流サイト)の「フェイスブック」を運営。利用者は、「フェイスブック」を利用することで、家族や友人と情報を共有したり、コミュニケーションをとることができる。	7.1%	
3 VISA, INC. Class A	アメリカ	金融サービス	グローバルなペイメント(決済)テクノロジー会社。高速かつ安全、信頼性の高い電子決済で消費者、企業、銀行、政府、地域を結び役割を果たす。	5.3%	
4 UNITEDHEALTH GROUP, Inc.	アメリカ	ヘルスケア	医療保険、ソフトウェア、データコンサルティングサービスを提供する。	4.5%	
5 APPLE, INC.	アメリカ	テクノロジー	モバイル通信機器、メディア機器、PC、携帯音楽プレーヤーの設計、製造、販売を手掛ける。	4.3%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・エクイティ・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					6月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	5.4%	
2 KB FINANCIAL GROUP INC.	大韓民国	金融	KB国民銀行、KB国民カード、KB 投資証券、KB生命、KB資産運用などの子会社を通じて、総合的金融サービスを提供する持株会社。	3.4%	
3 ERSTE GROUP BANK AG	オーストリア	金融	銀行業および金融サービスを提供。リテール・中小企業部門、企業・投資銀行部門、マーケット部門、本社部門の4主要部門から事業を構成。	3.3%	
4 OPT BANK PLC	ハンガリー	金融	60年以上の間ハンガリーの銀行部門における重要な役割を担ってきており、1999年からは複合的な商業銀行として業務を行っている。複数の子会社を通じてグローバルな金融サービスを提供している。	3.3%	
5 POWSZECHNY ZAKLAD UBEZPIECZEN SA	ポーランド	金融	ポーランド最大手の保険会社。	3.1%	

◎アライアンス・バーンスタインSICAV I -エマージング・マーケット・マルチアセット・ポートフォリオ クラス株式

組入上位5銘柄					6月30日時点
銘柄	国	業種・種類	債券格付け、事業内容など	組入比率	
1 MARUBENI CORP.	日本	資本財	総合商社としては、比較的バランスのとれた事業ポートフォリオを持つ。強みを持つ分野は、資源・エネルギー分野で銅の上流権益、食料で穀物分野、海外電力事業など。	3.0%	
2 KINGBOARD CHEMICAL HOLDINGS LTD.	香港	加工業	化学メーカー。子会社を通じ、ラミネート、銅箔、ガラス布、ガラス糸、さらしクラフト紙、プリント回路基盤、その他化学品を製造する。	2.9%	
3 SAMSUNG ELECTRONICS CO., LTD.	大韓民国	情報技術	電子機器やコンピュータ関連製品の製造・販売を手掛ける。事業部門は、民生エレクトロニクス、IT(情報技術)・移動体通信、デバイス・ソリューションの3つ。	2.6%	
4 WOORI BANK	大韓民国	金融	個人向けや商業銀行業務を提供する。具体的なサービスとしては、インターネットバンキング、預金、ローン、生命保険、為替取引、ファンド、年金、クレジットカード、資本市場関連業務、国際金融、資産管理など。	2.3%	
5 TURKIYE IS BANKASI - CLASS C	トルコ	金融	トルコ共和国において最大規模の商業銀行	2.2%	

◎アリアンツ・ヨーロッパ・エクイティ・グロース・セレクト

組入上位5銘柄					6月30日時点
銘柄	国	業種	事業内容	組入比率	
1 SAP SE	ドイツ	情報技術	エンタープライズ・アプリケーション・ソフトウェア(EAS)の分野で世界を代表する企業、数多くの製品と関連サービスを世界各国で提供する。	7.2%	
2 RECKITT BENCKISER GROUP PLC	イギリス	生活必需品	家庭用品、ヘルスケア・パーソナルケア用品を製造・販売。地域別のセグメントは、欧州・北米、中南米、北アジア、東南アジア、オーストラリア・ニュージーランド、ロシア・CIS、中東、北アフリカ、サハラ砂漠以南のアフリカなどがある。	5.2%	
3 PRUDENTIAL PLC	イギリス	金融サービス	保険と金融サービスを手がける持株会社。アジア、米国、英国で主要な活動を行う国際金融サービスグループとして、リテール向けの金融商品・サービスと資産運用サービスを提供する。	5.1%	
4 INFINEON TECHNOLOGIES AG	ドイツ	情報技術	自動車や産業用電力、チップカード、セキュリティ向けの半導体やシステムソリューションの製造を手掛ける。自動車、産業用電力制御、マルチマーケット電力管理、チップカード・セキュリティ、その他の各部門を通じ事業を展開。	4.9%	
5 NOVO NORDISK A/S-B	デンマーク	ヘルスケア	90年以上にわたり糖尿病ケアの革新をリードしてきた製薬会社。インスリンのマーケットシェアは5割前後に至る	4.4%	



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第304号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

ありがとうピックス



『ルーツのルーツは 1982 年』

ありがとう投信株式会社
ファンドマネージャー 真木 喬敏



皆様、いつも大変お世話になっております。今月のありがとうピックスでは、先月から全国で新投資先ファンド紹介セミナーをさせて頂いているアリアンツ・グローバル・インベスターズのユニークな調査方法グラスルーツ・リサーチ(草の根・調査)をはじめた起源について簡単に説明させて頂きます。グラスルーツ・リサーチの概要については[6月公開の月次運用レポート【ありがとうブログ】](#)をご参照ください。

まず皆様突然で大変恐縮ですが、「アタリショック」をご存知でしょうか? 「リーマン・ショック」とはまた次元の異なるショックでしたので、聞いたことのない方が大半だと思います。先月名古屋にて新投資先ファンド紹介セミナーを開催した際には、1980年代に米国に駐在されていたお客様がアタリという名前に聞き覚えがあるとおっしゃってました。また、弊社創業社長であり、現顧問である村山も知っているようでした。1970年代後半から80年代前半にかけて、主に米国で大ヒットした家庭用テレビゲームを開発した会社が Atari(アタリ)社でした。恥ずかしながら私の生まれる前でございますので、Atari 社の事は全く存じ上げませんでしたし、初めてヒットしたテレビゲームと言ったら任天堂のファミリーコンピュータだと思っていたので、これを機に私も勉強させて頂きました。

さて、話を「アタリショック」に戻しますと、1970年代後半の販売から大ヒットした Atari 社のテレビゲーム機でしたが、その急激な家庭用ゲーム市場の拡大に注目して、ゲームを作ったこともない他業種のメーカなどもゲームソフトの作成を始めました。その結果、非常に質の低いゲームソフトが大量に出回るようになってしまい、もちろんこういった低品質なゲームソフトは家庭用テレビゲーム市場全体の信頼を損なう事につながり、Atari 社の業績も一気に悪化しました。

この「アタリショック」の間接的な引き金となったと言われている出来事として、E.T.のゲーム化がありました。E.T.は皆さんご存知かと思いますが、**1982年6月**に米国で公開された地球に取り残された異星人と子供たちの交流を描いた感動的な SF ファンタジー映画です。私が生まれる前の事ですので直接映画館で見たいませんが、子供の頃ビデオで見た際の感動は今でも忘れません。米国では公開と同時に大ヒットし、これをテレビゲームにしたら間違いなく売れるだろうという事で、多額の投資をしてゲーム作成の権利を買い、年末のクリスマス商戦に間に合うように急ピッチでゲームソフトの開発を進めました。また、大ヒットを見込んで大量にゲームソフトを製造しました。しかしながら、出来上がった内容は、感動的な映画の印象とはかけ離れたもので、返品なども多く、結果として大量の在庫を抱えるようになったようです。こういった一連の出来事で、テレビゲーム市場の信頼を損なった結果、Atari 社の親会社ワーナーコミュニケーションズの株価は大きく下げることになったのです。



ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。

この事象について投資家としての教訓は、予想の売上高と実際の売上高に乖離がある事は明らかであるという事でした。大ヒットした映画のテレビゲームが売れるのは当たり前と考えるのは簡単ですが、上記の例でみるように実際それは全くの見当違いだったわけで、どうやればそういった予想値と実際値のギャップを埋めることができるかという根本的な問いから、グラスルーツ・リサーチ(草の根・調査)チームが1984年に設立されました。実際にどのような調査方法かという、先の E.T.ゲームの例でいうのであれば、例えばゲームの小売店の販売担当の方に事前にお客様からの引き合いを聞いてみる、又はクリスマス商戦に合わせての販売でしたので、クリスマスプレゼントを実際に購入する親にアンケートを取るといった手法です。つまり、あくまでも製品・サービスの提供を受けるのはお客様(消費者)であり、販売の動向を探るうえでそのお客様に近い人々に聞くことが一番確度の高い情報源だということです。一般的に証券アナリストなどは担当する企業に四半期ごとに足元の販売・生産状況、また来期の業績のイメージなどをインタビューしに会社訪問しますが、それとはまた違った切り口でより消費者に近い現場を情報源とした調査手法がグラスルーツ・リサーチ(草の根・調査)のコアになっていると考えます。まさに草の根を一つ一つ見ていくイメージでしょうか。

新投資先ファンドセミナーでは、さらにグラス・ルーツリサーチの詳細について解説させて頂いておりますので、ご興味ございましたらご参加のご検討いただくと幸いです。

◆記載内容について：資料に記載されている個別の銘柄・企業については、あくまでも参考として申し述べたものであり、その銘柄又は企業の株式等の売買を推奨するものではありません。

ありがとうファンドのリスク及び手数料等について

リスク	当ファンドは、ファンドオブファンズであり、国内外の投資信託証券などの値動きのある証券に投資します。また、外貨建て投資信託証券に投資する場合には為替の変動もあります。なお、投資信託証券の組入証券の発行会社の倒産や財務状況の悪化等の影響により、価額が下落し、損失を被ることがあります。したがって、ご投資家の皆様の投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本が割り込むことがあります。ファンドに投資することに伴うリスクはお客様のご負担となりますし、ファンドへの投資による損益も全てお客様に帰属します。また元本及び利息の保証はなく、預金保険の対象でもありません。
手数料	申込手数料・換金手数料・信託財産留保金はありません。
信託報酬	ファンド純資産総額に年 0.972%(税抜 0.9%)の率を乗じて得た額とします。 [実質的信託報酬 信託財産の純資産総額に対し年 1.6%±0.2%(概算)] ※当ファンドは他のファンドを投資対象としており、投資対象ファンドにおける所定の信託報酬を含めてお客様が実質的に負担する信託報酬を算出しております。
その他費用	当ファンドに組み入れるファンドを売買する際に発生する売買委託手数料およびこれにかかる消費税相当額などの実費が投資信託財産より控除されます。 ※実費の額は、今後組み入れファンドの追加や変更があった場合、変動してくるものであるため事前に料率、上限額等を表示することができません。

※リスク・費用等の詳細につきましては、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。目論見書のご請求は、ありがとう投信(株)カスタマーサービス部まで。【〒110-0005 東京都台東区上野 3-19-4 フリーコール 0800-888-3900】

【レポートで使用している指数の注記】騰落率は、FACTSETよりデータを参照し、弊社にて計算しております。TOPIXに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は東京証券取引所に帰属します。S&P500種指数(S&P500)に関する著作権、知的財産権、その他一切の権利はS&P Dow Jones Indices LLCに帰属します。MSCI Indexに関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI に帰属します。

ありがとう投信株式会社 金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第 304 号 一般社団法人投資信託協会会員

このレポートはありがとうファンドの運用状況等を開示するための情報提供を目的として、ありがとう投信株式会社が作成したレポートです。信頼性が高いと判断した情報等に基づいて作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。投資信託の取得を希望される方は、必ず目論見書の内容をご確認の上、ご自身の判断でお申し込みください。